

米山記念奨学生(2009年4月~2010年3月)の入学式



Governor's Monthly Letter

ガバナー月信



Governor
Message

「ガバナー月信」
ご愛読有難うございました

ガバナー 岩淵 均

ガバナー月信6月号をお届けします。2008年7月号から開始して12冊目になります。通常なら12冊で終了となりそうですが、6月分の出来事を7月号に掲載するので13冊目を7月中旬頃に皆様にお届けする予定です。

今年度ガバナー月信を作成するに当たっての方針は、「12回連載ものの掲載」と「ページ数(金?)に糸目を付けない」の2点でした。連載ものとしては、瀧田ロータリー情報委員長に「ロータリー情報ニュース」、青木職業倫理委員長に「職業倫理訓の逐条解説」そして浦和RCの矢作パスト会長に「ロータリーエッセイ」の原稿をお願い致しました。

いずれも力作で、読者よりお褒めの言葉をいただいております。ガバナー公式訪問等でいただいた激励は、曰く「毎回読んでいよ」「楽しみにしているよ」「会長挨拶で使っています」等々。連載物の場合は、一年間特定の内容の記事が掲載されますので、内容も充実しますし、読者にとっても「今月はどんな内容の記事だろう」と心待ちになるものでしょう。

また、公式訪問で皆様のクラブを訪問しておりまして、各クラブが活発な奉仕活動を行っていることを知り、その活動を全会員に知らせたいと思いましたので、裏表紙にカラー版「写真で見るロータリー家族」を作りました。また、様々な活動の内、特に野外活動などについてはカラー印刷の方が、見栄えがするので、できるだけカラーページを増やすようにしました。更に、私の考えていることも披露するなどして、月信の充実を図りました。「私の考えていること」の内、「ポリオ撲滅の全体像」と『奉仕の理想』、『超我の奉仕』の解釈は、いずれも会員からの指摘事項でありますので、会員の皆様と私との合作ということになります。

第12号を発刊するに当たっての感想は、手前味噌ではありますが、合格点をつけることができると思います。この紙面をお借りして、1年間ご愛読いただいた会員の皆様と月信担当の長島・大倉両副幹事にお礼を申し上げます。有難うございました。

2008-09年度 国際ロータリー第2770地区

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂1-2-1-116
エイベックスタワー東館1階
TEL: 048・827・0022
FAX: 048・827・0011
E-mail: ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp



大連 RC の「ロータリー宣言」(大連宣言)について

ガバナー 岩淵 均

前号では、公式訪問の際に質問された「奉仕の理想」に関して私の考えを述べると同時に、「Object of Rotary (ロータリーの綱領)」を格調高い訳文にしたいと述べました。今月号では、公式訪問の際に出会った格調高い文章をご紹介します。それは「大連 RC の『ロータリー宣言』(以下、「ロータリー宣言」)」です。私は、この「ロータリー宣言」が戦前にあったことは承知していましたが、今日の年度計画書に「ロータリー宣言」を掲載しているクラブがあることを知り驚きましたし、また感銘もしました。三郷中央 RC と三郷ウェンズデイ RC の年度計画書です。

* * *

「ロータリー宣言」は、大連 RC 会員古沢丈作氏の作で、ロータリーの綱領を翻訳という方法によらないで日本風に表現したものです。この宣言に関して次のような議論があったと、「ロータリー日本五十年史」に書かれています。

1936年(昭和11年)に神戸で開かれた第70地区(日本・朝鮮・満州)大会で、神戸クラブの直木太一郎氏が「大連 RC の『ロータリー宣言』は日本文として適切にロータリー精神を表わしているからこれを第70地区の宣言にしたい」との動議を提出した。

これに対し米山梅吉氏は「国際ロータリーにおいて厳粛に決定せられているロータリーの綱領は一言一句の変更も許されぬ」と言ったが、京都の田辺隆二会長は「それは英文で決められているもののことで、その他にその精神を日本文で表わすものがあってよい、また英文は誤解を抱かれ易くそれも逐次訳でなければならぬこともない」と反論し、……村田前ガバナーもまた「この大連クラブの宣言を見出して推奨したのは他ならぬ自分であって、これは立派なものだからこれを英訳してロータリーの綱領を改正

するようシカゴ本部へ提案したらどうか」、と言ったので議論が沸騰してどうなることかと思われたが、大阪の里見純吉氏は「この提案は綱領の変更ではなくそれを補充説明するものとして採用したいというものだ」と賛成し、神戸の藤井松四郎氏がすかさずセコンドしたのでようやく治まった。

* * *

大連 RC の「ロータリー宣言」は次の通りです。

1. 須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは困って世を益せんがためなり。故に吾人は道義を無視していわゆる事業の成功を獲んとするものに与せず。
2. 正否を曰うに先立ち、退いて義務を尽くさむことを思い、進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕するもの、最も多く満たされるべきことを吾人は疑わず。
3. あるいは特殊の關係を持って機会を壟断し、或は世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す、これ吾人の最も忌むところなり。吾人の精神に反してその信条を紊るは、利のため義を失うより甚だしきは無し。
4. 義を以て集まり、信を以て結び、切磋琢磨し、相扶け相益す。これ吾人団結の本旨なり。然れども党を以て厚くすることなく、他を以て拒むことなく、私を以て党する者にあらざるなり。
5. 徒爾なる角逐と鬭争とは世に行わるべからず、協力を以て博愛平等の理想を実現せざるべからず。然り吾が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す。吾がロータリーの崇高なる使命茲に在り。その存在の意義また茲に存す。

須らく…べし=当然…をすること。

蓋し＝本当に。確かに。（発語的にも使う）

吾人＝我々。私達。

壟断＝うまく利益を独占すること。一人占め。

紊る＝統一がなくなり、順序がたたなくなる意。

徒爾＝いたずらな様。無駄な様。（一に終わる）

角逐＝互いに相手を落そうと争うこと。互いに競争すること。

戦前の文章なので、なかなか理解することが難しい文章ですので、現代語訳を付けます。

1. 職業人である以前に、道義を重んじる人でなければなりません。自らの事業経営に全力を傾注するのは、社会に貢献するためです。従って、ロータリーは、道義を無視して、事業を成功させようという人の味方ではありません。
2. 事業の成功を考える前に、社会への義務を果たすことを考えて、奉仕に専念してください。自分の得を考える前に、他人に与えることを考えてください。「最も能く奉仕する者、最も多く報われる」ことを、ゆめゆめ疑ってはなりません。
3. 特別な関係による機会を利用したり、一般の人が決して取らないような機会に乗じて、大儲けをすることは、最も好ましくない行為です。ロータリーの精神に反して、ロータリーの信条を踏み外すことは、儲けるために、道義を踏み外すのと同じことです。
4. 正義を以て集まり、信頼を以て結束し、切磋琢磨して、お互いに助け合いお互いを利しましょう。これが私達の団結する趣旨です。仲間同士だけで懇意にすることなく、仲間以外を拒むこともせず、私利のために仲間を作るものではありません。
5. 無駄な競争と争いは行いません。協力をしながら博愛平等の理想を実現します。私達はこの博愛平等の理想を世界に広めるために活躍するのです。ロータリーの崇高な使命はここにあり、ロータリーの存在の意義もまたここにあるのです。

（第1～3 田中毅氏「ロータリー歴史探訪 日本編」より、第4、第5 岩淵訳）

原文は、漢文調の格調高い文章だと思いませんか？年度計画書に載せるのも一つですし、職業奉仕月間に唱和することも一つだと思います。少なくとも何度か声に出してこの名文を味わっていただければ幸いです。

日本のロータリー史－1920～1940年

- 1920 米山梅吉、福島喜三次等により東京 RC 設立。
- 1922 大阪 RC 設立。
- 1923 関東大震災に対する見舞金として RI (25,000ドル) 及び世界503クラブより合計89,800ドル送られる。東京 RC は孤児院「ロータリーの家」等を建築。
- 1924 神戸・名古屋 RC 設立。
- 1925 京都 RC 設立。
- 1926 第一回都市連合会、大阪にて開催。
- 1927 横浜・京城 RC 設立。
- 1928 日本（朝鮮、満州を合わせ）、第70地区（7クラブ）に設定される。初代ガバナー：米山梅吉。大連 RC 設立。大連宣言発表。
- 1929 第一回地区大会、京都にて開催。奉天 RC 設立。
- 1931 台北 RC 設立。満州事変。
- 1933 福岡・小樽 RC 設立。日本、国際連盟脱退。
- 1935 ポール・ハリス夫妻来日。ロータリーソング「奉仕の理想」、「我等の生業」作曲。
- 1936 神戸での第70地区大会で「大連宣言」に関し大激論が交わされる。
- 1939 第70地区、70・71・72の三地区に分割される。三地区の統轄機関として日満ロータリー連合会結成（46クラブ）。
- 1940 第一回日満ロータリー連合大会開催。日本が RI 脱退。

（田中毅氏「ロータリー年表」「ロータリー歴史探訪－日本編」、RID2650「ロータリー情報マニュアル」より）

IM 報告

第12グループ インターシティ・ミーティング

テーマ「皆で考えよう明日の福祉と高齢社会」

講師 さわやか福祉財団理事長 堀田 カ氏

2009年4月29日（祝日）／川口駅前フレンディア

講師 (財)さわやか福祉財団
理事長 堀田 カ氏

第一部 市民公開講演会で一般市民とロータリアン、その家族を対象に団塊の世代が大量に退職の時代を迎え、高齢化がますます顕著になり高齢者の単独死とか介護福祉の問題が話題にならない日が有りません。今年度のIMはそのような問題を取り上げ、どう対応して行けば住み易い社会に出来るかを「皆んなで考えよう…」と企画しました。川口市、戸田市、蕨市の三市と教育委員会、福祉協議会にも後援をいただき一般市民に開放する型にしました。介護の在り方、認知症の人とのかかわり方など、どうすれば予防出来るかなど全国での例を説明され、地域社会全体で工夫していく事が大切であると話されました。勿論、家庭が一番重要ですが、孫など子供達、隣近所の方々のかかわり方が大切



海老原ガバナー補佐

第12グループガバナー補佐 海老原 邦延

で、保育園、学校などの登下校のお手伝いをするだけでも認知症の防止につながるようです。高齢者が多くなる今後において、高齢者の生きがいとなるような組織的な行動サイクルを作り上げて行く必要があると思います。そのお手伝いに対し、何らかの対価、地域通価とか時間通価などのポイントが貯まる制度が有効であると話され、今後の奉仕の参考になりました。

参加者 一般市民 120名

ロータリアン 120名 計240名

第二部 式典及び懇親会

市民公開講座会場風景



IM 実行委員会

川口ロータリークラブ創立50周年記念式典について



平成21年2月22日（日）ホテル・ニューオータニにおいて開催されました川口ロータリークラブ50周年式典には、岡村川口市長、永瀬川口名誉市民を始めとするご来賓の皆様、岩渕ガバナー、パストガバナー、大塚ガバナーエレクト、井橋ガバナーノミニーをはじめとする地区役員の皆様、友好クラブであります台湾中歴扶輪社陳社長並びに会員の皆様、スポンサークラブである、浦和ロータリークラブの佃会長を始めとする2770地区ロータリークラブ会長ならびに川口ロータリークラブ会員、家族の参加を得て、300名以上の盛大な式典になりました。ご参加いただいた皆様に心からの感謝を申し上げます。

私共川口ロータリークラブは、昭和34年12月17日に創立され、翌35年1月8日に浦和ロータリークラブをスポンサークラブとして埼玉県で5番目に設立されたクラブです。昭和34年、35年当時を振り返りますと、34年4月10日に皇太子ご成婚があり、その前年10月の東京タワーの完成とも相まって、日本中の家庭にTVが普及するきっかけとなった時代でした。その頃の川口市の人口は17万人、現在の51万人の約三分の一にすぎませんでした。

当時の2770地区は、355地区と呼ばれており、全国の地区数が6、関東甲信越9都県が一つの地区であった頃です。埼玉県では、川越を筆頭に、熊谷、浦和、大宮、川口、入間の6クラブのみでした。

こうした中、40名のチャーターメンバーを基にスタートした川口ロータリークラブは、この50年間に戸田、鳩ヶ谷、川口西、川口東、川口北、川口南と6つのクラブのスポンサーをし、高橋理平、田中徳兵衛の二人のガバナーを輩出するという輝かしい足跡を残して参りました。これはメンバー一人ひとりの奉仕の理想への熱意が途切れることなく受け継がれてきた証拠であります。

川口ロータリークラブ 会長 田中 徳尚

そして今年度50周年を迎え、さまざまな事業やイベントを企画しました。最初の事業は、2008年9月8日（月）に大利根カントリークラブで開催された50周年記念チャリティゴルフ大会でした。2770地区からも多数のロータリアンの参加を得、その収益金を聴力の不自由な方のための介助犬の普及に努められている、「社会福祉法人 聴導犬協会」に寄付することができました。

次に11月10日（月）には、「マンモス交番」として市民に親しまれている場所に、川口市民の交通安全と振り込め詐欺防止を願った、交通標識の寄贈を行い、岡村幸四郎川口市長ならびに平野公一川口警察署長にご臨席を賜りその除幕式を開催いたしました。

第三弾として本年2月7日（土）に名誉市民の永瀬洋一様を迎え「川口物語り」記念講演会・記念コンサートを行いました。600名以上収容の川口リリア音楽ホールが超満員で立ち見が出るほどの盛況を得ました。

そして、2月22日（日）の50周年記念式典と、その後の記念誌発行で全ての行事を無事終了することができました。

このような事業を推進することができたのも、川口ロータリークラブの会員並びにご家族のご理解とご協力があったことです。特に、笠松実行委員長を始めとする、50周年実行委員の皆様には連日のように打ち合わせを重ねていただき、多くの知恵と時間を捧げて頂きました。

これからもクラブの歴史に誇りを持ち、先輩の偉大なる足跡を受け継ぎ、「夢をかたちに」できる活動を推進し、新しい時代に即した地域並びに世界への貢献に邁進して参りたいと思います。

2009年4月吉日



クラブ旗に寄せ書きするご来賓

川口・鳩ヶ谷武南ロータリークラブ創立25周年記念式典



川口・鳩ヶ谷武南ロータリークラブでは創立25周年記念式典を4月10日開催いたしましたので、結果報告を致します。

2008年5月記念式典実行委員会を構成し、25周年についての大枠を検討致しました。前回20周年は地区ガバナー、パストガバナー、地区役員、近隣クラブ役員様ほか大勢の皆様のご臨席を頂き、会場も上野「精養軒」で開催いたしました。

記念事業は当クラブでは従来よりロータリー財団、米山記念奨学への寄付金そして、川口・鳩ヶ谷両市社会福祉協議会へ金一封の贈呈を行ってきました。今回25周年は15周年同様（招待者の範囲を狭め、例会場の青木会館を式場）に第11グループ内を主に会場は地元川口文化センター（リリア）を使用、記念事業は地元で眼に見える「地域の教育的社会貢献」として、2770地区第9グループ草加ロータリークラブ今年度クラブ会長の（株）渡辺教具製作所様にお願いし直径64cmの地球儀を特注で制作していただき、川口市では川口駅東口「フレンジア・4階川口図書館」鳩ヶ谷市は市役所庁舎1階「市民広場」に設置していただきました。是非一度機会がございま

川口・鳩ヶ谷武南ロータリークラブ

創立25周年記念式典実行委員長 鈴木 尹宏

したらご覧頂ければと願っております。尚、クラブ創立以来12月に行っております「交通遺児」「母子家庭遺児」の皆様をお招きしてのクリスマス会開催に大変ご協力いただいております。川口・鳩ヶ谷市社会福祉協議会様には些少ですが金一封を贈呈致しました。

さて、記念式典当日は川口市長・岡村幸四郎様、鳩ヶ谷市長・木下達則様、第2770地区ガバナー・岩渕均様、はじめ我がクラブ創立時ガバナー・福島良治様ほか現在のロータリー地区運営にご尽力いただいております多くの皆様、遠方より姉妹クラブであります中华民国台湾・大甲北区扶輪社・林俊彦社長を団長とする26名の皆様にご臨席をいただき式典・祝賀会とも盛大に終了することが出来ました。

また、平成元年締結しました大甲北区扶輪社との姉妹クラブの再締結書の署名は式典前日4月9日池袋「ホテル・メトロポリタン」での来日歓迎・合同例会にて行われました。

以上で創立25周年記念式典の報告とさせていただきますが、今後とも川口・鳩ヶ谷武南ロータリークラブに対し、ご支援、ご指導の程お願いいたします。



川口北東ロータリークラブ創立25周年記念式典

川口北東ロータリークラブ 会長 熊木 正太郎



中村直前ガバナー挨拶

桜花の香る4月12日の日曜日午後4時30分、川口市総合文化センター「展示ホール」において、岡村川口市長、当地区中村直前ガバナー(ガバナー代理)、遠路台湾からはるばる駆け付けて頂いた姉妹クラブ林口扶輪社の宋会長以下28名の社友等大勢のご来賓の皆様のご臨席を賜り、総勢200名で記念式典および祝賀会を盛大に開催いたしました。

25年前に諸先輩たちが「奉仕の理想」に燃えてクラブを創立し、25年間代々引き継いで奉仕と友情の輪を広げ営々とバトンタッチして今日があることを再認識した1日でもありました。チャーターメンバー48名の内、お亡くなりになったり、ご事情によりクラブを離れたりして、現在9名在籍しておりクラブの礎として後輩の指導育成にご尽力くださっております。

今回は百年に一度といわれる大不況の中でもあり、式典の有り様についても色々と議論を重ね派手なことは避けつつも、ロータリー本来の奉仕の精神はゆらぐことなく記念事業については前20周年より充実させることで一致し、見沼用水のクリーン大作戦等で協力頂いている近隣の4つの中学校、ロータリー財団、ポリオプラス基金、米山記念奨学会への寄付をいたしました。



当クラブチャイニーズ合唱団と林口社友との競演

また、会場は安価な公共の場を使うなど運営については「エコの実践」を目標に掲げて行ないました。

ただし、前述のとおり「派手なことは避け」「エコの実践」だけでは、雰囲気としては暗いイメージがありましたし、また台湾の人は歌が好きなことから歓迎の意味も込めて、第2部の祝賀会は、米山奨学生林貞祐さんの北京語教室から発生した当クラブが誇るチャイニーズ合唱団と林口社友との競演あり、カラオケで歌手とご来賓とのデュエットあり等々お祭り気分が盛り上がり時の経つのも忘れる位楽しいひと時でした。

最後に「手に手つないで」の斉唱の輪は完全に一本につながり、30周年に向けた明るい希望の輪になりました。



台湾林口扶輪社の会員と共に全員での集合写真

さいたま欖ロータリークラブ創立5周年記念例会

さいたま欖ロータリークラブ 会長 清宮 義雄



田村
パス
トガ
バナー
挨拶

若葉が目にしみる
薫風さわやかな季節
になりました。

さて、当さいたま
欖ロータリークラブ
では、平成21年4月
14日に創立5周年記

念例会を開催させていただきました。当日は国際ロータリー第2770地区ガバナー岩淵均様、さいたま市長相川宗一様、韓国国際ロータリー第3720地区姉妹クラブであります蔚山第一ロータリークラブ会長鄭鳳植様を始めとする皆様、多くの先輩ロータリアンの皆様、又当クラブ会員ご家族の皆様のご出席を賜り盛会に開催できましたこと誠に有難く心より感謝申し上げます。

当クラブは2004年4月13日付、田村亮夫ガバナー・大橋軍治特別代表のご指導のもと、スポンサークラブのさいたま中央RCの温かいご支援より、地区84番目のクラブとして創立致しました。この間ロータリーの諸先輩方には懇切丁寧なご指導ご尽力を賜りここに5周年を迎えることができ、会員一同深く感謝を申し上げ敬意を表すところでございます。

当クラブの奉仕活動の特徴は、創立時より環境問題（水問題を含め）を取り上げ、よりよい地域環境造りの大切さを互いに学び奉仕活動を実践してきました。

2004年10月には昆虫達が住める自然環境の保全を訴え啓蒙を図るために、第1回「虫の音を聴こう」、第2回2005年には「虫のオーケストラ」、第3回2006年には「地球の仲間達と遊ぶ」、第4回2007年には「虫の音アイランド」と一貫して水問題を含めた自然環境の重要性を子供達と共に考え行動してまいりました。そし



清宮会長による式辞

て本年は、RIテーマの「夢をかたちに」を基本としつつ、子供の死亡率を低下させる奉仕プロジェクトを地域レベルで実施しようと検討し「命を大切にしよう」の呼びかけ運動を開催し、スローガン「見直そう 日本の心」のもとに、少年少女の豆剣士の稽古の姿から健全な心身、礼儀正しさ、思いやる心を知っていただく目的に開催し充分なる成果が得られたと思っております。

今後とも地域社会、国際社会の両面にわたり、会員一同熱意を持って奉仕活動を実践し10周年に向け精進してまいりますので、さいたま欖ロータリークラブに更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。



会員による集合写真

浦和ロータリークラブ創立55周年記念式典について

浦和ロータリークラブ 会長 佃 茂明



犬飼基昭日本サッカー協会会長の講演

平成21年5月15日（金）浦和ロイヤルパインズホテルで開催されました浦和ロータリークラブ55周年式典（2770例会）には、上田埼玉県知事（代理）県民生活部長後閑博様、さいたま市長相川宗一様、2770地区ガバナー岩渕均様を始めとしてパストガバナー、スポンサークラブである川越ロータリークラブ大久保会長、来賓の皆様、近隣クラブの会長、幹事の皆様の参加を得て150名以上の盛大な式典になり、参加いただきました方々に心から感謝を申し上げます。

第二部では、日本サッカー協会会長の犬飼基昭先生による「これからの日本の社会に於けるスポーツの重要性」と題しまして、スポーツがいかに社会にそして教育に与える影響が大きいことについて熱弁を振るわれ、詰め掛けた市内のサッカー関係者、サッカー少年団父兄の皆様が熱心に聞かれておりました。その後の、祝宴では国際親善奨学生の中津川さんによるアカペラでの独唱はしばしの間、皆様が楽しまれたことと存じます。

私ども浦和ロータリークラブは、昭和29年8月30日に東京ロータリークラブと川越ロータリークラブをスポンサーとして29名のチャーターメンバーで県内3番目のロータリークラブとして発足しました、当時を振り返ると1月に地下鉄丸の内線池袋―お茶の水間が開業、4月に東京で第1回自動車ショーの開催、

芸能面では黒澤明監督の「七人の侍」、東宝映画「ゴジラ」が封切り等、戦後日本が着実に復興していく時代であったと思います。

29名で発足して以来55年が経過し現在は会員数106名を有するクラブとなりその間に半田利一ガバナー、綿貫文夫ガバナー、高窪昭雄ガバナー、岩渕均ガバナーの4人を地区へ送り出すという地区内での奉仕活動の実績を残してまいりました、これも一重に会員一人ひとりが奉仕の理想を掲げ、さまざまな奉仕活動に尽力された賜物であります。

55周年の記念事業としまして、さまざまな奉仕活動を行いました「ボーイスカウト211団」等に金一封を贈呈し、尾瀬井戸沢に記念植樹を行い、東京電力玉原水力発電所を見学して環境保全に取り組むことの重要性を再認識しました。

今年度の岩渕ガバナーの熱い思いから浦和クラブでは埼玉県が推奨する「みどりと水の再生事業」に賛同し、「ロータリーの森基金」を設立し秩父市の宝登山中腹に0.8haの場所に植樹をしてロータリーの森を作る事を決定しました。

このような素晴らしい記念式典ができましたのも友好ロータリアン並びに関係各位のご協力の賜物と、浦和ロータリークラブの会員並びに関係者一同心より感謝申し上げます。



創立30周年を迎えて



三郷ロータリークラブは平成21年5月9日（土）三郷市文化会館に於いて、創立30周年記念式典を開催致しました。当日は岩渕 均ガバナー、大塚信郎ガバナーエレクト、中村靖治直前ガバナーを始めパストガバナー、ガバナー補佐、地区役員の方々、そして2770地区のロータリークラブの皆様、また韓国から大邱東信ロータリークラブの皆様が、奥様も含めて16名いらして下さいました。大勢の皆様にご臨席を賜り、心より感謝申し上げます。



第一部の30周年記念例会から第2部の記念講演、そして第3部の懇親会まで終始和気藹々として和やかに終

了することができました。これもひとえに皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

さて、クラブの歴史を振り返ると、私たち三郷ロータリークラブは昭和54年5月11日に会員数34名で創立総会を行い、翌年の5月19日に国際ロータリー加盟認証状伝達式を開催致しました。創立から30年経ちました現在も、チャーターメンバーの方々が6人も今も元気に現役でご活躍なさっております。奉仕活動としての事業は、今年で23回を数える「日韓児童図画交流展」、これは三郷市教育委員会にご協力いただき、市内全20校の小学校で各学年より一番優秀な図画を選出し、その図画を描いた小学生を表彰するというものです。韓国側でも同じように大邱市

三郷ロータリークラブ 会長 有明 京子

の各小学校の各学年からから優秀な図画を選出しそれを描いた生徒を表彰する活動を行っています。互いの国の優秀な絵画が海を渡り両国で展示されます。小学生はもとより、ご父兄や先生方もこれらの絵画を鑑賞します。両国の芸術の分野で大いに貢献していると考えています。

また、社会奉仕事業として毎年4月29日には「春の花いっぱい運動」を行い、地域住民の方に無償で草花や樹木の苗木を配布しています。今年も三郷市と共催で、早稲田公園に於いて行われました。草花と苗木を選ぶ人々の目は、温かさや優しさにあふれていました。それぞれが選んだお花を大事に抱えて持って帰られる光景は、何回見ても心温まります。そして青少年の健全育成をめざしては、「三郷ジュニアフットボールフェスティバル」サッカー大会のことで、それに三郷市少年野球大会の夏季大会。これらには三郷ロータリークラブ杯争奪戦ということで、当クラブの冠をつけさせていただいております。これらの継続事業は一つ一つ先輩ロータリアンの方々が築いてこられたものです。私は会長に就任したときに、このような事業を行ってきたクラブの伝統の重さを感じました。そしてこれらの事業が1つ終わるごとに、その内容のすばらしさに、改めて感動致しました。これから会長になられる方もきっと良き伝統を受け継がれ、新たな感動を覚えられると思います。30周年を皆さんとともに祝うことができ、感謝の念に堪えません。



2009年「地区協議会」開催報告

RI テーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」 寛容の精神・慈愛の心に満ちたロータリアン 「今こそ私たちの出番です」

次年度地区幹事 川島 紹佑

2009年地区協議会が、4月22日（水）、天候に恵まれる中、上尾西ロータリー・クラブホストの下、大宮ソニック・シティに於いて開催されました。次年度の各クラブの会長、幹事をはじめとするクラブ指導者の皆様と、パストガバナーをはじめ地区として皆様のクラブをサポートする地区役員等、総勢971名参加の開催です。

地区協議会の目的は各クラブの次年度指導者の皆さんが、RI 会長の方針と地区ガバナーの方針を聞き、会長、幹事部会を始めとする主要9部門の分科会で、次年度「効果的クラブ作りをする」ために必要な知識と技能を習得し、準備するためです。

10時20分大塚信郎ガバナーエレクトの点鐘で第1本会議が始まりました。

まず、林裕実行委員長（上尾西 RC）の開会の挨拶・星野宗敏（上尾西 RC）会長よりの歓迎の挨拶に続き、大塚ガバナーエレクトより地区役員紹介と挨拶がありました。

岩渕ガバナーは「長期ビジョンを持って、クラブ運営を」と、2007～10年度の RI 長期計画における7つの優先項目についてお話されました。

津田健三次年度地区研修リーダーからは、地区協議会の目的についての細かな解説をしていただき、今回新設される地区研修委員会の意義についてのお話がありました。

続いて大塚ガバナーエレクトの基調講演に移り、RI 会長ジョン・ケニー氏が提唱する「ロータリーの未来はあなたの手の中に」のテーマの解説、及び3つの RI 強調事項、水・保健 飢餓救済・識字率向上についての説明に続き、RI 会長賞への挑戦について、特に次年度は、RI 会長賞は RI の長期計画の6項目を中心に考えられている旨の説明があり、全クラブでの取り組みを要請されました。ポリオ募金について、重要性を強調され、更なる協力を訴えられました。そして、地区運営

基本方針として「ロータリーの綱領の唱和」、2つの特別委員会の説明と部門別基本方針の説明があり、第1本会議を終了しました。

昼食後の分科会では、担当諮問委員から基調スピーチをいただき、部門委員長及び各委員会委員長より、地区基本方針の詳細な説明と質疑応答が行われました。

第2本会議では、分科会での討論内容の報告があり、岩渕ガバナーより期待とお褒めの講評を頂戴しました。次に、次年度地区協議会ホストクラブ越谷東 RC へ大塚ガバナーエレクトより委嘱書が渡され、平林会長からご挨拶を頂きました。そして、上尾西 RC 堂前文義会長エレクトによる閉会の挨拶、大塚ガバナーエレクトの点鐘で地区協議会を成功裡に終了いたしました。

懇親会は市民ホールで開催され大勢の皆様に参加して頂き、終始和やかな内に終了する事が出来ました。

終わりととなりますが、本地区協議会の開催に当たりまして、綿密にご準備・運営をして頂きました、上尾西 RC の皆様に心から感謝を申し上げますと共に、ご出席頂きました地区役員および各クラブ指導者の皆様の、次年度のご活躍をご祈念申し上げます、地区協議会の報告とさせていただきます。



左から岩渕 G、大塚 GE、津田研修リーダー、井橋 GN

国際親善奨学生よりメッセージ



ロータリー財団2770地区の皆様、

ご無沙汰申し上げますこと、どうぞご寛恕ください。その節は、国際親善留学生としてのフランス留学という貴重な経験のきっかけを下さり、本当にありがとうございました。地区オリエンテーションを通じて学んだ外国留学の心構え、受け入れクラブの方々の手厚いサポートのおかげで、フランス生活の好スタートを切ることができました。留学生活も早6年を越し、出発当時まだまだ自信のなかったフランス語もすっかりネイティブ並みになり（と豪語してよいものやら？）、国際学会で発表する機会さえ持つことができました（2007年マルグリット・デュラス国際学会「マルグリット・デュラスと現代思想」、スウェーデン・ゲーテボルグにて）。また経済的には、ロータリー財団奨学金受給後、日仏共同博士課程奨学金、フランス政府給費奨学金と続けて合格、言わば奨学金の自転車操業ですが、おかげさまで学業に専念することができました。また近年は、日本語教授のアルバイト、そしてとりわけ国から出る生活補助金を収入源として、困窮することなくフランス生活を満喫しています。サルコジ政権下保守寄りになったとはいえフランスは、日米先進資本主義大国のストレス社会に比べれば、まだまだ社会主義の気風のある住みやすい国と言っているのではないかと思います。

さて近況を簡単にお知らせいたしますと、ス

2002－03年度国際親善奨学生

ストラスブール(仏)大宮西 RC 推薦

村石 麻子

トラスブール大学の外国語センターで日本語を教えながら、博士論文の仕上げをしているといった状況です。日本語教授ですが、センターがとりわけオーラルコミュニケーションに焦点を当てているため、授業は5人から10人の少人数制で、週に4コマ（1コマ1時間の授業、各回に1時間のチュートリアルあり、初級2コマ、中級・上級各1コマ）持っています。日本語教授と言ってももちろん資格があるわけではないので、まったくの手作り授業です。父が小学校の教師ということもあり、学生の興味を引きそうな教材を選んで、話したくなる雰囲気を作る、その辺りのコツをつかむのは割合早かったのでないかと自負しています。初級は文法中心ですが、中・上級はより創造的な授業ができるので、今まで「自己紹介すごろく」や、「場所当てクイズ」など、自分でゲーム感覚の授業を考案したりもしました。そしてそれが学生に受けたときの喜びと言ったら、言葉に余るものがあります。またセンターの趣旨が、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語などポピュラーな言語を除く、世界の少数言語の普及と教育にあ



るので（中国語・韓国語などアジアの言語はもちろん、スウェーデン語、ポーランド語、ヘブライ語、ペルシャ語、トルコ語なんてのもあるので、東京外国語大学のミニチュア版だと思って下さっていいです）、日本語はイタリア語と並んで授業数が多く、メジャーな言語になった気分です。その反面、学生数が減るとコマ数も無慈悲に減らされるので、外回りの営業マンになったつもりで、お客様＝学生とのコンタクトをマメにとり、「顧客」確保に奔走しています。日本語を学ぶ学生はフランス人に限らず、フランスに学びながら第2・第3外国語として日本語を学ぶ、中国やギリシャ、ロシアなど各国からの学生も迎えており、授業のコスモポリタンな雰囲気がとても気に入っています。

そして肝心の論文ですが（!）、「マルグリット・デュラスと聖書：“無神論者”によるリライトと再読」というテーマで、それなりのものが仕上げられるのではないかと考えています。個人的にはクリスチャンではないのですが、大学のそばのカトリック教会施設で催される学生向けの討論会に時々顔を出しています。また2006年の夏に、そこで知り合った同年代の修道士さんが企画した青少年向けの南仏研修旅行に参加しました。教会施設に泊まりながら、カテ



ドラルを訪れる観光客にステンドグラスや建造物のガイドをするという文化歴史的な内容でしたが、個人的には、「20世紀の女性作家が無神論者を標榜しながらなぜ聖書を読み続けたのか」、という私の論文の素朴な出発点に還る大切な機会になりました。また修道士さんの仲介で、現在はご退職になった古典ギリシャ語の高校教師の方のご紹介いただき、定期的に書いたものの添削をお願いしています。

それではお話は尽きませんが、こうしたすばらしい経験を得る機会を作って下さったロータリーの皆様に重ねお礼申し上げ、皆様の益々のご活躍、ご清祥をお祈りするとともに、筆をおきます。初夏のストラスブールは一年で一番美しい季節です。こちらにお越しの際はぜひご一報ください。拙いながらガイド申し上げます。



2007－08年度国際親善奨学生

メルボルン（豪）川口 RC 推薦

駒場 美幸



カウンセラー夫人

大変ご無沙汰しております。ご報告が遅くなり、恐縮です。みなさんお元気ですか？

1月末にメルボルンに到着してから、なかなか自分の生活のペースがつかめず、ようやく最近になって落ち着きました。先週末は28歳の誕生日を迎えました。

大学院での勉強は、内容だけでなく、英語力のレベルの高さに圧倒され、自分のペースをつかむのに苦労しました。今学期は2科目しかとっていませんが、クラスメイトは皆ネイティブ、



タスマニア島で9800地区大会（左右）

またはネイティブ並みの英語力を持っている人ばかりで、ディスカッションなど慣れるまで大変でした。メルボルンのロータリアンには到着したときから本当にお世話になっています。何かとわからないことがあると電話をしますが、常に親身に話をきいてくれます。こちらのカウンセラーの夫婦には、到着してから家が見つかるまでおよそ一ヶ月近くお世話になりました。そのため、オーストラリアの一般的な家庭の生活も垣間見ることもできました。現在は、メルボルンのコリンウッドという地域に住んでいて、大学へは徒歩、またはバスで通っています。オーストラリア人、イギリス人、スペイン人、デンマーク人と一緒に住んでいて毎日にぎやかです。

また、メルボルンには親善奨学生が5人ほどいますが、中でもアメリカから来ている3人と仲良くさせてもらっています。みなメルボルン大学で勉強していて、授業のことやロータリークラブでのスピーチについて相談しあったり、一緒に食事したり、遠出したりと、常に連絡を取り合っています。また、3月12日から15日まで、タスマニア島で9800地区の地区大会があり、私たち親善奨学生も参加してきました。タスマニアの小さな町には800人ものロータリアンが集まりました。いろいろなスピーチやイベントがありましたが、中でもミャンマーでの緊急支



援やポリオの話が印象に残りました。

1月～2月にかけてビクトリア州のほぼ全域を襲った山火事ですが、大変な被害をもたらしました。メルボルンに影響はありませんでしたが、知り合いから聞く話や、車で遠出するたびに黒くこげた木々を目にするなど、被害の重さを実感しました。メルボルンのロータリークラブは、被災者に対する寄付金を募るため、チャリティオークションを行ったり、サンドイッチやホットドッグを販売したりと、精力的に募金活動を行っていました。

6月～7月は冬休みに入ります。家の事情でもしかしたら日本に一時帰国するかもしれませんが、できる限りオーストラリアの中で活動したいと思っています。



私のカウンセラー

世界平和フェロー誕生

世界平和フェロー8期生に三浦曜子さんが決定しました。9月から英国ブラッドフォード大学修士課程に留学します。彼女は今まで、米国で取得した公認会計士の専門職を生かし、タイ国を中心に「国境



中央が三浦曜子さん

世界平和フェローシップ委員長 牛山 信康

なき医師団」で経営計画管理の仕事に従事していました。そして更にご自身のスキルアップと国際平和事業に積極的に係る研究をしたいとの希望が実り難関大学に合格致しました。

写真は5月2日激励会を行った時のものです。岩瀬ガバナーはじめ参加者から、学業を成就し卒業後世界平和の為に尽力してほしいと期待と励ましの言葉が寄せられました。

推薦地区は2770地区、推薦クラブは吉川ロータリークラブ、カウンセラーは中村靖治直前ガバナーです。

英国に出発する前に三浦曜子さんの講演会を企画中です。2770地区の皆様、支援致しましょう。

新会員の 声 入会して3年目

浦和南ロータリークラブ 辻 隆幸



私が浦和南ロータリークラブへ入会してから2年半が経ちました。入会して最初に所属したのが親睦委員会、翌年はSAA、今年度は副幹事を務めていて、例会の司会をさせて頂いております。

当初ロータリークラブと言う名前は聞いた事がありましたが、どのような活動をしているのか分かりませんでした。入会のお誘いを頂いた時に奉仕活動をする団体と聞き、また実際に入会して例会等、出席をしていく内に奉仕の内容（職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕）を少しずつですが理解できるようになって参りました。

浦和南ロータリークラブの例会は、毎週月曜日12時30分から1時間、私にとって有意義な時間です。特にゲストの方や諸先輩方の卓話はとても興味深く、楽しみにしております。

ロータリークラブの基本はまず例会出席と最初に教わり、出来る限り欠席の無いよう努めております。ロータリー活動でまだ解らないこともあります。これから諸先輩方と親睦を深め、地域社会・国際社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

文庫通信 (260号)

最近のロータリー情報から

- ◎「ロータリーの創立者ポール・ハリスをめぐって」 神崎正陳 2008 5p (D.2570地区大会)
- ◎「決議23-34の杞憂」 田中毅 2009 9p (D.2500月信)
- ◎「ロータリーとは?～ロータリアンであることの意義～」 成川守彦 2008 9p (D.2760地区指導者育成セミナー)
- ◎「あなたは何故ロータリアンなのですか?」 中山義之 2008 19p (D.2770指導者育成セミナー講演録)
- ◎「パネルディスカッション『会員増強』」 大友恒則(コーディネーター) [2009] 13p (D.2800地区大会の記録特集号)

- ◎「ロータリー知識クイズ」 [2009] 3p (D.2830西第一分区IM報告書)
- ◎「ロータリーの職業奉仕」 安平和彦 2009 37p (D.2680職業奉仕セミナー)
- ◎「ロータリー財団『未来の夢計画』のパイロット地区申請にあたって」 小船井修一 2009 2p (D.2500月信)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時～午後5時
休館=土・日・祝祭日

連載 第十二回 ロータリー情報ニュース

「すべてのクラブが活力あるクラブになろう」

ロータリー情報委員長 瀧田 和雄

次年度に向けて管理運営部門は、先日の地区協議会で表記のターゲットを掲げさせていただきました。私どもの部門は第2770地区の全81クラブが明るく、楽しく、活気溢れるクラブ活動を目指し側面からサポートさせて頂くことに全力で傾注してゆきたいと考えております。

まず最初に、全てのロータリアンが「ロータリーの綱領」に則ったロータリーライフを実践することです。The Object of Rotary はご存じのとおり「ロータリーの目的」であり加えて生活基盤であります。

次に、CLPを十二分にご理解頂き、皆様のクラブの身の丈に合ったクラブ運営を実行していただくこととあります。その最も適した手段（Best practice）が中村年度にお願いをしましたクラブ棚卸とクラブ中・長期計画であります。この二つの課題は皆様のクラブ運営に大変役立つ辞書のようなものであります。各クラブでは毎年会長が変わり、当然年間のスケジュールも、奉仕活動も変化しております。しかし、RIは今後3～5年間にわたる長期目標に取り組むよう要請をしております。これがクラブに活力を与える**効果的クラブ**（会員増強・奉仕プロジェクト・ロータリー財団・指導者育成）になるための手段であります。しかし、CLPが発展するにつれ、これらの目標を随時変更してゆく必要があります。それが、**クラブ中・長期計画**であります。クラブ会長さんにおかれましては年度ごとのこのクラブ中・長期計画の見直しをしていただきたいと思います。

クラブ中・長期計画が毎年見直され、即、こ

れが年度計画書に反映されることにより、毎年新しい企画で活力あるクラブ運営の基礎になってまいります。これらの書類は地区の Web Sight から入手できますのでご活用ください。

そして3番目にお願いしたいことは「**例会の充実**」であります。月信4月号に書かせていただきましたが、米山梅吉翁が「**ロータリーの例会は人生の道場である。**」と言っております。又、ロータリー通解の著者ガイ・ガンディカーは「**例会において自己研さんを遂げ、一例会が終わるごとに自分の心の世界が深くなり、高くなり、自分の力量が大きくなっていく。**」と言っております。折角、大切な時間を費やして人生の道場に出向いてくれる多くの会員さんが、何も持ち帰らずに帰路に着いてばかりでは段々と足が遠のくのは必定であります。もう一度「**例会の充実**」を考えてみましょう。

最後に、今年度と次年度にまたがって実施される RLI（The Rotary Leadership Institute）ロータリー・リーダーシップ・研究会であります。基本的な考え方としまして、「ロータリアンの知識を啓発し、将来のクラブの指導者を養成する」という目的を持つ組織であります。この勉強会に沢山の会員のご参加をお願いしたいのであります。

以上、いくつかの提案をさせていただきましたが、何卒これらの課題を実行することにより、一層活力のあるクラブ運営が可能になると確信しております。最も大切なのは、全員参加のクラブ運営であります。頑張りましょう。

連載

ロータリーの職業倫理訓逐条解説（12）

全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓

職業倫理委員長 青木 伸翁

第11条 「すべて人にしてもらいたいと欲することを人に対して行うべし」という黄金律の普遍性を信じ、われわれは地上の天然資源がすべての者に均等な機会として与えられてこそ、人類社会は最良の状態となるべきことを主張してやまないものである。

これは天然資源の平等配分に対する理念の提唱です。

天然資源は、人間の知性によって開発されるべき全国民の所有財産というべきものでしょう。したがってその内容が無尽蔵であるかのように無計画に開発されたり、あるいは一部の者が独占したりすることはロータリーの取らざるところです。一人のロータリアンの行動が仲間のロータリアンの幸せに寄与するのみならず、万人がその恩恵を受け、物質的にも精神的にも満たされるようになることこそロータリーの理念だとすれば、ロータリーは地上の天然資源は人類全体に平等に利用されてこそ、人類社会の向上に資するものであることを主張しているのです。

黄金律：ある行為が道徳に反しているかどうかの判定方法の一つ

「その行為を他人がするとき受け入れられるか」

「自分だけの例外を作っていないか」

世界中の殆どの宗教的、道徳的訓えの中に現れている

エジプト：他人のために良かれと自ら望んだことを捜し求め、それをしてあげなさい

ベルシャ：あなたが人からしてしてもらいたいことをしてあげなさい

仏 教：他人の幸せを自ら望んで捜し求めなさい

儒 教：自分の嫌だと思ふことは人にもするな

ヒンズー教：人が他人からしてしてもらいたくないと思ういかなることも他人にしてはいけない

イスラム教：あなたがしてもらいたくないような方法であなたの兄弟たちを扱ってはならない

ギリシャ：隣人から敵意を抱かせるようなことをしてはならない

ローマ：すべての人が心に刻み込んでおかなければならない法律とはあなた自身の社会の人たちを愛することである

ユダヤ教：自ら憎むことを他人にしてはいけない

キリスト教：あなたが人にしてもらいたいと思うことを他人にしてあげなさい

ロータリーに職業奉仕理念を導入し、奉仕哲学を体系づけた、アーサー・フレデリック・シエルドンは、彼が考えたロータリーの標語

「奉仕に徹する者に最大の利益あり」「最も良く奉仕する者最も多く報いられる」(He Profits Most Who Serves Best) と「黄金律」(Golden rule) は全く同じことであると言っています。

「2009年度米山記念奨学生入学式」報告



米山記念奨学部門委員長 菊池 隆喜（庄和）

進委員長の入学お祝いの言葉がありました。引き続き奨学生36名全員のスピーチに移り、奨学生らしい素晴らしいスピーチと成りました。多くの国の中から、日本と言う国を選んで学びに来た奨学生、この一年間各クラブの行事に積極的に奨学生を呼んで頂き、色々な体験の中から多くのロータリアンと接し、ロータリー活動を通して日本人の心に触れ、日本の素晴らしさを世界に伝える親善大使と成って行く事と思います。

その後、遊馬学友委員長から次年度の役員を紹介させて頂き、大変楽しい入学式、時間があっという間に過ぎ「手に手つないで」の大合唱にて終了いたしました。

皆様のご協力に感謝申し上げます、報告といたします。

奨学生出身国名：中国・韓国・台湾・ベトナム・タイ・ミャンマー・バングラディッシュ・モンゴル・ネパール（9ヶ国）

奨学生在籍大学：埼玉大学・日本工業大学・獨協大学・文教大学・共栄大学・聖学院大学・東京理科大学（7校）



5月10日（日）今年度、新たに米山記念奨学生になった28名と昨年から継続学生8名迎えて、入学式が東武バンケットホール上尾にて開催されました。

さらに各クラブの会長・委員長・カウンセラー、又大学の指導教員8名の参加を頂き、総勢145名の出席のもと、厳粛かつ和やかな雰囲気にも包まれ執り行われました。

第一部、入学式では岩瀬ガバナー・関口研修リーダー・津田諮問委員・久世奨学会学友委員長様より、それぞれの立場からの素晴らしいご挨拶いただきました。引き続き出席頂いた大学の指導教員6名の先生方からも、お祝いの言葉とロータリーに対してお礼の言葉を頂き、奨学生の学校での授業風景・研究に対する姿勢を報告して頂きました、これから奨学生として学識・技術を学び、日本と世界を結ぶ大きな架け橋と成る様、先日送られた桜の花をモチーフにしたバッチを胸に、素晴らしい花を咲かせていくことを願います。第一部入学式典が終了した後、第二部懇親会に入り、大塚ガバナーエレクト・中村直前ガバナーの挨拶の後、乾杯となり大熊増

ロータリー財団

大口寄付 687,937.7 \$



田中 作次
（八潮）

平成21年 4月23日

大口寄付 10,112.87 \$



石田 文雄
（浦和）

平成21年 4月30日

大口寄付 10,029 \$



矢崎 清太郎
（川口北東）

平成21年 4月30日

M・P・H・F(6)



石野 栄一
（草加21）

平成21年 4月17日

M・P・H・F(4)



森田 寛太郎
（越谷）

平成21年 4月23日

M・P・H・F(3)



桃木 俊郎
（越谷）

平成21年 4月23日

M・P・H・F(2)



神戸廣通
(越谷)
平成21年4月23日

M・P・H・F(2)



鈴木宏之
(鳩ヶ谷)
平成21年4月23日

M・P・H・F(1)



斉藤隆男
(三郷ウエズデー)
平成21年3月26日

創立25周年記念寄付



川口北東ロータリークラブ
(川口北東)
平成21年4月15日

米山愛字会

米山功労者マルチブル(7)



鈴木弘
(大宮北)
平成21年3月26日

米山功労者マルチブル(5)



萩原寿昭
(鳩ヶ谷)
平成21年4月23日

米山功労者マルチブル(3)



遊馬幸義
(蕨)
平成21年4月14日

米山功労者マルチブル(2)



柴田武男
(蕨)
平成21年4月14日

米山功労者マルチブル(2)



松尾康司
(蕨)
平成21年4月14日

米山功労者マルチブル(2)



亀田修一
(川口)
平成21年4月23日

米山功労者



上田治男
(蕨)
平成21年4月14日

米山功労者



高橋耕地
(蕨)
平成21年4月14日

米山功労者



野口正人
(蕨)
平成21年4月14日

米山功労者



浜野章夫
(越谷南)
平成21年4月17日

準米山功労者



市川孝次
(鳩ヶ谷)
平成21年4月23日

創立25周年記念寄付



川口北東ロータリークラブ
(川口北東)
平成21年4月15日

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。



松本圭市 会員
(鳩ヶ谷)
平成21年4月12日
享年70歳



今泉幸雄 会員
(草加南)
平成21年4月28日
享年69歳



青木大和 会員
(越谷)
平成21年5月1日
享年71歳

新会員



本間竜二
(川口)
平成21年4月2日入会
近畿日本ツーリスト株式会社
旅行業



長谷川守幸
(大宮南)
平成21年4月7日入会
(株)高島屋大宮店
百貨店



小池佳代子
(春日部西)
平成21年4月9日入会
医療法人 春明会 春日部
訪問看護ステーションすみれ
看護師



曾根伸穂
(浦和)
平成21年4月10日入会
(株)アイテック計画
地域開発コンサルティング



程塚操
(春日部イブニング)
平成21年4月21日入会
(株)程塚設備
管工事業



中川雅久
(大宮)
平成21年4月22日入会
大和証券(株)大宮支店
証券業



吉澤隆
(大宮西)
平成21年4月27日入会
ウイルさいたま
葬儀業



金春善
(川口東)
平成21年4月28日入会
(有)サイラント
飲食業



藤田幸宏
(浦和東)
平成21年4月30日入会
積水ハウス(株)
プレハブ建築



小川美佐恵
(上尾)
平成21年5月7日入会
(株)エーワ
製造業



牧田純生
(さいたま新都心)
平成21年5月11日入会
あいおい損害保険(株)
埼玉自動車営業部
損害保険業

グループ	クラブ名	2008年 7月1日現在		当月末 会員数		当月入会	当月退会	増 減	当 月 出席率	当月順位	通算 順位
		内女性		内女性							
第二グループ	浦 和	102	2	105		1		3	91.18	17	7
	浦 和 東	73		73		1			86.77	42	20
	浦 和 南	37		38		1		1	92.57	13	11
	浦 和 中	44	2	42	2			-2	83.12	54	39
	浦和ダイヤモンド	19	10	21	11			2	98.90	1	1
	第1グループ計	275	14	279	13	3	0	4	90.51		
第二グループ	浦 和 北	79	6	76	5			-3	93.38	9	6
	さいたま中央	48		52	2	1		4	87.02	41	43
	浦 和 西	14	3	13	2			-1	90.38	20	18
	浦 和 北 東	40	1	39				-1	76.92	65	69
	さいたま新都心	38		38			2		89.47	27	15
	浦和イブニング	11	1	9	1			-2	88.89	30	64
	第2グループ計	230	11	227	10	1	2	-3	87.68		
第三グループ	大 宮	59		61		1		2	82.77	55	47
	大 宮 南	35	5	36	5	1	1	1	83.33	52	38
	大 宮 中 央	58		55				-3	62.96	78	77
	大 宮 南 東	8	2	8	2				87.50	37	35
	大 宮 シ テ ィ	56	6	59	6			3	78.45	63	55
	さいたま櫛	21		22	2			1	90.91	19	57
	第3グループ計	237	13	241	15	2	1	4	80.99		
第四グループ	大 宮 西	46		47		1	1	1	72.59	70	70
	岩 槻	35	3	38	4			3	68.92	75	79
	大 宮 北	32	1	31	1			-1	82.72	56	53
	大 宮 南 西	17	1	18	1			1	63.89	77	78
	大 宮 東	41	1	38		1		-3	90.09	23	2
	岩 槻 東	34		33	1			-1	71.76	72	61
	大 宮 北 東	17	2	21	2			4	75.07	69	72
	岩 槻 中 央	19		19					83.83	49	14
	第4グループ計	241	8	245	9	2	1	4	76.11		
第五グループ	上 尾	44		48		1		4	91.67	14	46
	鴻 巣	36	1	35				-1	91.43	15	22
	桶 川	28		30		1		2	90.96	18	44
	上 尾 西	52		51				-1	97.00	3	10
	北 本	8		7				-1	61.90	79	76
	上 尾 東	26		25				-1	84.50	47	67
	上 尾 北	32		31				-1	98.08	2	30
	鴻 巣 水 曜	33	3	31	3			-2	88.79	31	49
	桶川イブニング	18	2	17	2			-1	80.55	60	62
	第5グループ計	277	6	275	5	2	0	-2	87.21		
第六グループ	春 日 部	45		43				-2	90.09	23	19
	杉 戸	29	2	26	2			-3	85.58	45	60
	春 日 部 西	37	4	36	4	1		-1	83.70	50	56
	庄 和	24		22				-2	88.60	33	45
	春 日 部 南	28	5	26	5			-2	78.84	61	75
	春日部イブニング	18	1	24	1	1		6	87.25	40	27
	杉 戸 中 央	22		24				2	77.09	64	73
	第6グループ計	203	12	201	12	2	0	-2	84.45		

グループ	クラブ名	2008年 7月1日現在		当月末 会員数		当月入会	当月退会	増 減	当 月 出席率	当月順位	通算 順位
		内女性		内女性							
第七グループ	幸 手	47	3	45	2			-2	82.22	57	54
	蓮 田	31		30				-1	83.33	52	41
	久 喜 菫 蒲	56	2	55	2			-1	89.17	28	31
	栗 橋	15		14				-1	89.09	29	28
	白 岡	5	1					-5			80
	幸 手 中 央	25	1	25	1				72.00	71	63
	第7グループ計	179	7	169	5	0	0	-10	83.16		
第八グループ	越 谷	77		78				1	96.90	4	5
	越 谷 南	47	2	42	2	1	1	-5	83.40	51	66
	越 谷 北	45		51				6	87.40	39	33
	越 谷 東	45	4	47	5	1	1	2	81.35	58	52
	越 谷 中	17	1	17	1				70.31	74	81
	第8グループ計	231	7	235	8	2	2	4	83.87		
第九グループ	草 加	23	2	22	2			-1	58.82	80	82
	ハ 潮	49	6	50	5			1	87.45	38	34
	草 加 南	18	2	19	2			1	52.63	81	58
	ハ潮イブニング	26		28	1			2	90.18	22	32
	草加イブニング	11		11					88.64	32	51
	ハ 潮 中 央	17		16				-1	94.66	8	3
	草 加 中 央	27		27	1				96.20	7	12
	ハ 潮 シ テ ィ	18		18					75.92	67	71
	草 加 2 1	10	4	10	4				85.00	46	8
	第9グループ計	199	14	201	15	0	0	2	81.06		
第十グループ	吉 川	31	2	32	2			1	81.25	59	36
	三 郷	31	2	28	2		1	-3	89.66	26	40
	三 郷 中 央	25		26		1		1	90.30	21	24
	三郷ウェンズデー	19	1	20	2			1	86.25	44	37
	松 伏	12	2	13	3			1	75.17	68	9
	第10グループ計	118	7	119	9	1	1	1	84.53		
第十一グループ	川 口	73	11	79	11	1	1	6	76.52	66	65
	鳩 ケ 谷	30		31	1		1	1	88.46	34	48
	川 口 東	21	1	21	2	1	2		84.15	48	26
	川口・鳩ヶ谷武南	30	2	29	2			-1	96.25	5	42
	川口モーニング	28		29				1	92.86	11	29
	川 口 南	32	6	32	5				68.75	76	74
	鳩ヶ谷シティ	19	2	16	1			-3	86.67	43	25
	第11グループ計	233	22	237	22	2	4	4	84.81		
第十二グループ	戸 田	52	5	54	6			2	70.80	73	50
	蕨	32	1	31	1			-1	87.98	36	23
	川 口 西	32	4	27	4			-5	88.29	35	59
	戸 田 西	33	3	33	3	1			92.70	12	21
	川 口 北	34		35				1	96.25	5	4
	川 口 北 東	37	3	36	3		1	-1	91.30	16	16
	川 口 中 央	14	1	16	1			2	90.00	25	13
	川口むさし野	14		16				2	93.33	10	17
	戸田イブニング	21		21					78.75	62	68
	第12グループ計	269	17	269	18	1	1	0	87.71		
地 区 合 計		2,692	138	2,698	141	18	12	6	84.34		



ロータリーとその家族



資源回収でカンボジアに井戸を贈ろう！

岩槻東ロータリークラブ 会長 山崎 和雄



今年度、RI 会長は活動目標として「子どもの死亡率を低下させよう」を掲げました。そして具体的な行動目標は次の3つを打ち出しました。

1. 水問題 2. 保健及び飢餓救済 3. 識字率の向上であります。

そこで、岩槻東ロータリークラブでは次の活動を行うことになりました。「資源回収でカンボジアに井戸を贈ろう！」ということになります。事業内容については以下になります。

事業の趣旨

私の職業柄、廃棄物の収集を行っていますと、街のごみ集積場所に新聞紙やダンボール・雑誌が可燃ごみとして非常に多く出されており、結果的には環境センターにて焼却処理されております。

そこで、これらの資源ごみを燃やさずに古紙資源（リサイクル用）として売却し、売却益金で RI の目標である水問題の事業を行い、発展途上国の子どもたちが汚染された水で病気になり、死亡する要因を少しでも減らそうと考えています。（現在、世界中の5歳未満の子供が1日3万人も亡くなっています。）

また、焼却しないでリサイクルすることにより焼却時の CO₂ の削減にもなり、ひいては地球温暖化の抑制にもつながります。

事業内容

岩槻東ロータリークラブの会員自宅や会員事業所より出る、古紙資源（新聞紙・ダンボール・雑誌）を回収業者が例会場や事業所を巡回回収し、リサイクル用として売却します。そして売却益金で発展途上国に井戸を寄贈し、住民に安全で衛生的な飲料水を提供する事業であります。

会員宅の回収方法は毎月第一例会に持参し駐車場にて業者に引き渡します。また、会員企業の回収は各事業所の指定する日・曜日に業者が引き取りに伺い回収します。この回収は1年間続けられます。

回収期間：平成20年7月1日より平成21年6月30日

回収品：新聞紙・ダンボール・雑誌・紙類

寄贈国等：カンボジア・チクレン郡ルセイローク地区スピアントーチ村

寄贈井戸数：19本（クラブ5本・個人14本）

井戸設置日：2009年2月

井戸単価：1本当たり25,000円（維持費含む）

資源回収量：10,700kg（21年3月末）

売却益金：72,010円（21年3月末）

視察旅行 4月15日～20日

井戸の発注はカンボジアが5月より雨期のため、2月にクラブ寄贈5本と個人寄贈14本合計19本を発注いたしました。

井戸発注には NPO 法人シェックを通じお願いしました。シェックはカンボジアのシアン・ナム氏（国会議員）に現地業者に手配や採掘場所の選定等を依頼しております。シェックはすでに井戸1100本の実績と学校建設や歯科医療診療等のボランティアを行っている団体であります。井戸採掘場所はカンボジアシェムリアップの街から70km離れた農村地帯でセイローク地区スピアントーチ村に井戸を採掘しました。現在は乾季の終わりのため、赤土の道路が多く車が通るたびに土ぼこりが舞い上がり前方が見えなくなっていました。雨が降るとぬかるみだらけで車がよく立ち往生するようで、雨期には一帯は緑の水田になるそうです。

井戸を掘った所はまばらな集落で1つの井戸を2～3軒単位で使用するのだそうです。どの家も高床式で椰子の葉で屋根と部屋の周りに被い、あまりの質素な住まいに絶句いたしました。家の周囲にはバナナや椰子の木が茂り、敷地内に素堀りの井戸が深さ2mほどあり褐色の水でありました。また、水がめに雨水を貯めボウフラの湧いた水を使っていました。井戸が出来る以前はその水を生活水として使っていたそうです。どの家も子供が多く、大人や子供達も井戸が出来たことで毎日水をかぶったり・洗濯をしたり・生活水としてきれいな水が使えることを大変喜んでいました。突然お伺いしても、何処の人たちも両手を合わせ、頭を下げ感謝を表していました。

カンボジアでは、まだ安全な水の利用率は41%と低く、60%の人は不潔な非衛生的な水の利用を余儀なくされています。そして、今世界中では子供達（5歳未満）が1日3万人も亡くなっています。飲むにも、体を洗うにも、汚水しかない為に毎日何千人もの子供達が亡くなっていく、子供達を少しでも救えればと活動の意義を深く噛み締めてまいりました。



寄贈井戸を使う子供

再び「奉仕の理想」について

ポール P. ハリス著「This Rotarian Age ロータリーの理想と友愛」の中に、「奉仕の理想とは何を意味するか」としてポール自身が考えを書いた部分があるので、これを以下に示します。参考にしてください。

ロータリーの概念する奉仕の理想とは、著者(ポール)の理解するところでは、物の過程の最初に奉仕を置くものである。換言すれば、奉仕の理想を標榜する者は、受けるべき物質においてでなく、まず与えるべき奉仕に着眼すべきである。物質を眼前に近く置けば見透しは困難となる。そしてそのもっとも愚かな方法は金銭に集中することである。

The Rotary conception of the service ideal, as the writer understands it, is placing service first in the sequence of events ; in other words, he who professes to be a devotee to the service ideal must fix his eye on the service he is to render and not on the dollar he is to receive. When the dollar is placed in proximity to the eye, it is difficult to see beyond. Dollar cornering per se is stupid procedure.

多くの専門職業に従うものの奉仕がその注文に対して引き合わないことがある時、他方においては、法律、医学及び神学の学生は、その従事する職業には必ず遵守すべき義務の付随するものであることを教えられているのである。(略)

実業の性質には奉仕の理想に無感応ならしめる何者かが内在するであろうか。(中略) 著者は信ずる、将来の実業は非常な熱意をもってその面目を保つことに努め、そして不正な実業家を、法律職業における悪徳弁護士及び医界における不良医師と一緒に高い木の上に追い上げずに止まないであろう。

While there are all too many professional men whose service fails to measure up to specifications, it is nevertheless the case that students of law, medicine, and theology are taught that the privilege of practicing their professions entails certain obligations, which must be borne. (略)

What is there about business to render it immune to the service ideal? (中略) The writer is convinced that business of the future will jealously guard its good name, even to the point of driving its crooks into tall timber to keep company with the shysters of the legal profession and the quacks of medicine.

らしい。
オーストラリアの地図を見ると、蟹が這っている様な形である。右下にタスマニアと言う島があり、そのホバートでは犯罪都市シカゴの話が出た。
ポール「私は40年間夜歩きしているけど、危険な目に遭ったことがありません。たまには会って見たいと思っています。」
翌日ポール一行はハイウェイで強盗団に襲撃され、ポールのロータリーバッチを強奪された。ホバートのロ

ータリアンが銃や刃物を持って強盗に扮し、ポールを驚かせたのである。ポールは面白がって、オーストラリアの友人に話した。
友人「ホバートは昔流刑地だったんですよ。」
ポール「彼等はその子孫かも知れませんが、真に迫っていましたから。」
こう言うロータリークラブも又楽しからずや、である。
米山梅吉も教育に熱意を注いだ人である。彼の父は天誅組の城攻めで名高い高取藩士、母は三島大社神職

の娘である。地元素封家の養子になったが、早く跡取りになってももらいたかった養親の反対を押し切って東京に出た。アメリカに留学したくて、プロテスタント教会の援助を受けた。帰国後沼津中学の縁で勝海舟に就職を頼みに行き、井上馨を紹介されて、三井合名に入社した。沼津中学の前身は駿河徳川藩の兵学校だったが、大村益次郎が各藩の兵学校を統一させて、東京に陸軍学校を作った。その時沼津からは西周等の教授も上京し、残った部分が中学校になったか

ら、徳川氏との関係があった。勝は明治になってから、旧徳川家臣の面倒を良く見ていたので、沼津中学卒業生も旧家臣と同一視したのだろう。米山は色々な人の恩になったことを感謝しており、貧しい青年達には匿名で援助をしていた。これが米山奨学会設立の理由である。彼は小学校を作り、校長になったが、こちらは青山学院付属小学校になっている。

ロータリーエッセイ

(12) ポールの性格

浦和ロータリー・クラブ 矢作 好英

ポール・パーシー・ハリスの伝記中もとても興味があつたのは、弁護士資格取得後23才から28才迄の放浪生活5年である。

(1) ポールは何故5年も行方定めぬ旅鴉の生活をしたのか。

(2) 弁護士開業後後悔しなかったのか。

(3) 彼はこの5年間の生活体験をどう考えたのか。

私事にわたって恐縮だが、私にも似た様な経験がある。私は28才で司法研修所に入ったから、ポールの開業と同年である。アメリカと日本の制度の違いがあるから、法曹として同年令スタートである。日本では全てストレートで通過すれば、22才で研修所に入れるから、6年の遅れが生じている。当時平均年齢28才で、修習生500人中22才だった者は5%位だったから、私もそれ程遅滞した方ではなかったが、この空白期間をどうやって取返そうか、と考え込

んだことがある。この問題の対処法は年令によって違い、初めは残念と思ひ、次はその分長生きしてやろうと考え、最後はどうやってもカバーは出来ないと言った。

そこで私が思いついたのは、その期間の生活体験や知識を活用する方法は何か、である。私の6年は浪人3年と他学部3年だから、その間の経験を現在利用すれば、決して無駄ではない、と悟った。経済的や青春謳歌的には取戻せないが、自分なりに満足の行く解決法はある。

私はかつて将棋を習っていたせいで、人生は1局の勝負だから、指し直しは利かなくとも思っている。御破算には出来ないから、いくらまづい手を指しても、その手を利用して続ける以外に方法はない。

浪人3年で得たのは古文を読む読解力で、平家物語、太平記、南総里見八犬伝はスラスラ読めた。それを推進させて、平安文学迄読んで見

ようと言う気になり、最終目標を源氏物語に置いた。意外に早く光君にお目見え出来、1年弱で読み終った。訳はないが、注釈付の原文である。次に栄花物語に取りかかったら、これが実に楽だった。

哲学科3年間は実は司法試験の勉強ばかりしていて、お情け卒業だったから、卒業証書に恥じない程度の本を読もうと考えて取りかかった。哲学書の他に宗教書にも手を伸ばして、コラン、ウパニシャッド、法華経にもお目にかかった。こちらはこれで終了と言う限界はないから、

「こんな程度で失礼します」と頭を下げる位だったが、正法眼蔵を原文1回、現代語訳2回、抜粋訳2回読んだ。導師も居ないし、座禅も組まないから、こんなことが書いてある、のレベルで終わったのは仕方がない。

ポール・パーシー・ハリスがこの世を去ったのは78才だから、現在71才の私は彼の晩年にさしかかっており、彼の発想が理解可能な年令になっている。

ポールはこの放浪5年間の積極的

人格には多大の影響を及ぼしている。北部出身の彼が南部の戦争被害を見て、正義の戦争を否定しているのは、放浪生活なしでは考えられない。

ポールは教育を重視し、後の世代に残せる物は教育しかないと語り、青少年に他国や他地方を旅行させて精神的発達を促進させてやるののもっとも適切と言っている。この事業は将来にわたって世界平和と他国民相互理解に貢献するとも述べている。これらの発想も、若い時に国内外を見て廻ったポールの経験に基づくと思われる。

R1名誉会長になった彼はあちこちを廻っているが、彼の人柄が偲ばれるエピソードを紹介したい。

彼がオーストラリアのブリスベンに滞在中、顔色も悪く、ふさぎ込んでいたことがあった。当地のロータリアンがポールを田舎に案内したが、その先は新設された火葬場だった。ポール「施設はどんな具合かね。」管理人「最高ですよ。客から焼き加減についてコック長に全く苦情がありませんよ。」

「もっと元気を出さないと、貴方も焼き場行きが近くなりますよ」とオーストラリアの友人は言いたかった



写真で見る

ロータリーとその家族



草加中央 RC・川口モーニング RC



消防車のキーを引渡す木下草加市長



RI 3340地区との締結

上尾東 RC



25 周年記念事業「残そうよ 緑の景観を 地域の力で!!」



緑を守るためのボランティア活動中

岩槻 RC



あいさつする中村会長



幼稚園児と保護者及び米山記念奨学生、ロータリアンが世代間交流を図る

岩瀬ガバナー童心に返る

庄和 RC 広報委員会



岩瀬ガバナー夫妻と庄和 RC 会員

薫風かおる五月、約200年の歴史を誇る日本一の大凧（縦15m・横11m・重さ800kg）揚げ祭りが、5月3日と5日両日春日部市宝珠花江戸川河川敷にて盛大に開催されました。

庄和 RC では6年前よりブースを設け、社会奉仕、国際奉仕の各委員会活動、展示パネルによる広報活動をしています。3日には、ラオス支援の一環としてラオス写真展、ラオス民芸品の販売と募金活動。米掬いと稲の苗の進呈。地区内クラブ新聞掲載記事のパネル展示などが行われました。恒例となった【ガバナー凧（約



右ガバナー凧

畳3畳）は青空へ向かって高く高く舞い上がりました。100mの凧糸を一人握り締め大空に舞う凧を手繰る岩瀬ガバナーの姿が、少年時代にタイムスリップしているように見えたのは、私一人だけだったでしょうか。5日には、地区ローターアクトによるバザーと、ラオス写真展と募金活動、地区内クラブ新聞記事のパネル展示などが行われました。



大凧(100畳)の大きさを
見て下さい



大空に上った庄和の大凧

このページは皆様のクラブやロータリー家族からの投稿を写真入りで掲載します。
投稿はガバナー事務所まで。E-mail : ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp